

# 令和2年度 城下小学校グランドデザイン

## 学校目標

まなび きたえ ともにのびる子

## めざす児童の姿

友の話を聞き、自分の考えを伝え合い 学びを深めようとする子 (まなび)  
心と体の健康を考え、進んできたえようとする子 (きたえ)  
互いに支え合い、思いやりの心を 育もうとする子 (ともにのびる子)

## 令和2年度の重点

「指導の基盤になる集団の育成」  
授業のユニバーサルデザイン化による誰もが安心して学べる環境づくり  
お互いが認め合い高め合える、人間関係を大事にした集団づくり  
ルールとマナーが定着した安心して自己表現できる集団づくり

## 全校研究テーマ

「主体的に学び合うことができる児童の育成」  
～授業のユニバーサルデザイン化を基に～

## 学力向上への取り組み

### ○授業のユニバーサルデザイン化(わかる授業の実践)の推進

#### —授業内容の焦点化—

学習の流れを意識させる  
学び方 手順 ゴールの見通し  
発問 対象 方法の絞り込み  
—授業—ねらい

#### —学校全体での取り組み—

相手意識のある話し方・聴き方の指導

- ・ハンドサイン
- ・発表の仕方
- ・聴き方

(形式を決めて行っていく)

視覚に訴える教材提示  
理解の共有化

※学級作り・ユニバーサルデザイン化の進行度の向上

## 心と体をきたえる

### ○心をきたえる

- ・めあてをもった生活づくり
- ・無言清掃の充実と継続
- ・責任感を養うための児童会の当番活動や学級の係活動
- ・情報社会を正しく安全に生きていくための情報モラル教育

### ○体をきたえる

- ・計画的な運動活動の取り組み
- ・マラソンを通じた運動習慣の形成
- ・家庭と連携した基本的な生活習慣の指導

### ○安心安全な学校

- ・登下校の安全な通学指導
- ・落ち着いた生活習慣づくりによるケガの少ない学校
- ・生活指導重点の決め出しと全校での取り組み

## 豊かな心の育成

### ○好ましい人間関係づくり

- ・相互の価値観、感情の交流のある道徳教育の実践
- ・日常生活(朝の会 帰りの会 授業中)の「個々のよい面を引き出す」取り組みの継続
- ・明るいあいさつの習慣化

### ○安心して過ごせる学校・学級集団づくり

- ・Q-U検査の実施と結果に基づいた集団づくり
- ・互いの違いを認め受け入れる人権教育の実践
- ・心のアンケート、相談週間の実施

### ○保護者との連携

- ・即時性のあることについてはその日のうちの情報共有
- ・学校便り、学年便りでの情報の発信

## 地域の風が吹き抜ける学校

- ◆城下小コミュニティースクールの推進  
地域の方々のお力をお借りして「学校ボランティア」の組織とのつながり
- ◆保護者との連携・PTA活動との連携

## 職員の構え

- ◇わかる授業の実践
  - ・発言をつなげてまとめる教師の役割
  - ・価値に迫る教師の問い返し
- ◇個への気配りを忘れない支援の継続
- ◇学校全体で児童をみていく支援体制の構築
  - ・支援の必要な児童・気づきにくい児童の洗い出しと体制づくり
- ◇ともに学び合う研修会
  - ・教科指導・集団づくり・個別の指導・特別支援教育